

since 1995.12
2024 年 8 月発行



SKYかわさき通信

社会福祉法人SKYかわさき
〒214-0014
川崎市多摩区登戸 2341-1
TEL : 044-299-6526
FAX : 044-922-6628
HP : <http://www.sky1995.com/>

第51号

「歓びの記憶」

SKY かわさき前理事長 三橋 良子

この夏、社会福祉法人 SKY かわさきは設立満 4 年を迎え、理事・監事・評議員改選の年となった。コロナ感染症に対する緊急事態宣言下での不安に満ちた船出であったが、役員、登録メンバー皆で力を合わせ、なんとか嵐を乗り切ってきた。

振り返ればおよそ 30 年前、私は、地域精神保健活動の先進地とされる憧れの川崎で医療ソーシャルワーカーとして仕事をするようになった。きっかけは元職場（財・全国精神障害者家族会連合会）で編集に携わった 1986 年発行「心の病の相談室」～家族の問いに答える～であったと思う。編集執筆代表は元川崎市社会復帰医療センター所長の岡上和雄氏で、共同執筆者の中に川崎市職員と家族会会員が数名いらした。その方々の信頼関係と奥深い魅力に引き付けられ、いざなわれるように川崎での仕事を求めたのだった。

日本の精神科病床数が最大を迎えた 1994 年、入職した川崎市内の民間精神科病院には大勢の長期入院者がいた。5 年以上の長期入院者の年間退院率は 2 %。

精神保健福祉法が成立し、精神障害者手帳が交付されるようになった 1995 年、市民団体たま・あさお精神保健福祉をすすめる会が設立されて、翌年川崎市北部地域第 1 号のグループホームあんじょうやりやが誕生した。2005 年に地域交流を深めて NPO 法人格を取得。2020 年社会福祉法人設立までの 25 年間の軌跡は、記念誌「SKY25 年の歩みとこれから」に掲載しているので、ご参照いただければ幸いである。

私は 2007 年地域生活支援センターゆりあすの立ち上げから法人職員となり、社会福祉法人設立から 2 期 4 年（NPO 法人時代から通算 8 年）理事長職を拝命してきた。ゆりあす通信第 1 号に、趣味特技として、「食べたり、飲んだり、歌ったり、踊ったり」と自己紹介しているのを見つけ、若かったのだなと苦笑する。

力及ばず悔やまれることの連続で、あの人、この人のお顔を思い出すと、思わず涙ぐみそうになることもあるが、同時に、その時々ひとりひとりから輝く笑顔をいただいた瞬間がよみがえり、ハッとさせられる。

季節はめぐり、春には若葉が芽を出し、夏には枝葉はつながり続けるだろう。私は今限り（令和 6 年 6 月定時評議員会終結時）で理事長職を解いていただく。無事、今日を迎えることができたのは、皆様方のご支援ご協力の賜物と深く感謝している。これからは歓びの記憶と共に、側面からあるいは後方から SKY かわさきを見守り続けていく。

皆様、長い間ご指導のほどありがとうございました。そして今後も SKY かわさきをどうぞよろしくお願いいたします。



《法人本部からのお知らせ》



令和5年度事業報告

令和2年、社会福祉法人設立と期を一にして猛威を振るってきた新型コロナウイルスが、令和5年5月に5類感染症に引き下げられ、事業運営において日常を取り戻すことに努めた1年だった。

全事業所で対面による地域ネットワーク会議を再開し、地域ニーズの確認に努める中、10月にはWHO精神保健福祉法制度・政策ユニット責任者ミシェル・ファンク博士がジュネーブよりSKYかわさきへ視察にお越しになり、があでん・ららの地域ネットワーク会議に参加された。また、昨年の特別委員会、地域活動支援センターあり方検討会のまとめを受け、障害理解と地域交流を目的に、7月28日から8月2日まで多摩市民ギャラリーにて法人作品展「イカス！スカイ展」を開催し、334名の来場者を得た。

令和5年度特別委員会としては移動支援事業たち上げ検討委員会を開催し、令和6年度半ばまでには事業申請する方向を確認した。同じく特別委員会として就労継続支援B型事業所交通費問題検討会を開催し、川崎市と課題について協議した結果、「事業者が交通費を利用者に支払うことのみをもって利益供与とするには当たらない」との回答を得ることができた。

令和4年2月に報道された東京・滝山病院における虐待事件を受け、同年、障害福祉事業所において委員会設置が義務化された身体拘束や虐待防止の構造的課題を職員一人一人が深く理解するために、令和5年7月1日に神奈川近代文学館にて行われたシンポジウムと、同年12月16日に神奈川県立保健福祉大学にて行われた病院・地域精神医学会に後援団体として協力し、職員派遣した。



令和6年度事業計画

令和6年度は社会福祉法人SKYかわさき第1期中期3年計画(令和4年度から令和6年度)の最終年。(1)透明性、公益性を確保し、地域ニーズを確認する。(2)体制整備を行い、経営基盤を安定させる。(3)人材育成と世代交代、の3本柱を事業方針とする。また、第2期中期3年計画(令和7年から令和9年)の立案を行う。

本年は川崎市政100周年にあたる。様々な記念事業に法人として参加することで、地域でのつながりを深めていく。また北部地域生活支援センターゆりあすにおいて移動支援事業に取り組む予定である。各事業所共に、利用者、職員が日々を快適に充実して過ごせるよう体制整備を行っていく。

事業実施に当たっては法人に連なる一人一人が、持てる力をいかに発揮するかが基本となる。研鑽を重ね、きずなを深め、より広い視野に立って事業を展開していくために、人材育成と世代交代をすすめる。

新役員

(任期:令和6年～令和8年定時評議員会終結の時まで)

理事長	青野 眞美子	(職員)
理事	大友 わかさ	(職員)
理事	嘉門 琢美	(職員)
理事	篠原 宏江	(職員)
理事	金森 孝之	(職員)
理事	鶴田 裕	(職員)
監事	三橋 良子	(精神保健福祉士)
監事	上蘭 朗	(公認会計士)

新評議員

(任期:令和6年～令和10年定時評議員会終結の時まで)

評議員	坂本 勉	(会社員)
評議員	十文字陽一	(精神保健福祉士)
評議員	武田龍太郎	(他法人役職員)
評議員	谷 みどり	(他法人役職員)
評議員	築根 俊明	(精神科医)
評議員	三村 健	(精神保健福祉士)
評議員	飯村 史恵	(大学教授)
評議員	宮澤たい子	(家族会役員)
評議員	中澤 伸	(他法人役職員)

ご寄附御礼(令和5年12月1日～令和6年5月31日)

○ 日本基督教団 まぶね教会 様 ○ カリタス女子中学高等学校 様

○ 岡部 健 様 ○ 福岡 貴生 様 ○ 坂本 巴 様

○ 下麻生自治会 様 ○ 麻生やまゆりの会 様 他2件

(申込書・払込取扱票で「**掲載可**」に**チェックのある方のみ掲載**させていただきます)

計 143,000 円のご寄附をいただきました。

お志は大切に使用させていただきます。本当にありがとうございました。

画竜点睛

物事を成し遂げるために重要な最後の仕上げという意味のこと。

評議員の皆様のごひとことコーナー Vol.6



若者はどこにいく？

評議員 武田病院 武田龍太郎

昨今若者論が色々な媒体でとりあげられている。Z世代、AYA世代などと称され、いかにも私達世代とは価値観や行動パターンが異なる存在として評されている。具体的には、職場での業務以外のことには関わろうとせず、他者のことを考慮せずすぐに帰宅してしまう、個人のキャリア志向が強くなり新しい職場に入職しても周囲となじめず早期に離職してしまう、以前の世代が好んでいた車や飲酒などの趣味や嗜好が大きく変化し、SNSや動画配信に熱中するネット依存などが取り上げられ、その一方で調査結果ではボランティアや社会貢献を志向する割合も多い。また国際比較では、日本の若者は自信を喪失している割合が多く、高校生の自己肯定感についてのアンケート調査での「自分はだめな人間と思うことがある」と回答した割合は8割弱に達し、諸外国に比べて著しく多かった。

産業精神保健の現場での例をあげると、20代、30代の休職者割合が多く、適応障害やうつ病の診断が増えている。そしてその背景に「発達の偏り」があるのではないかという議論が増えており、自己責任論や養育過程の課題に帰する傾向がみられている。実際に一人一人とよく話してみると、その不安やストレス要因は、私達世代でも同じ立場におかれたら当然感じる内容のことも多い。

これまでも、「新人類」などといった差別化、分断するような用語が使われることがあった。私達の年代の30年、40年前はどうだったろうかと考えると、昔の経済成長が右肩上がりの時代と昨今の人口減少、国際情勢不安定な「不安の時代」とは背景が大きく異なる。現代の若者世代のみの価値観が変化したのではなく、多様な課題が山積する「不安の時代」では、特にその影響を受けやすいのが成長発達の途上である思春期、青年期の若者と思う。

最近の様々な若者論を耳にするに連れ、私達には彼らの不安に耳を傾けて日常から一緒に伴走し、課題解決に取り組んでいく責任があり、今後若者がメンタルヘルスの問題に限らず、気軽に訪れて何でも相談ができるような相談・居場所を地域につくるが必要と感じている。

ドキュメンタリー 映画「不安の正体」

～精神障害者グループホームと地域～

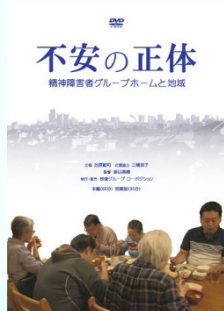
上映会報告 普及啓発委員会

会場：カリタス女子中学高等学校 小講堂

日時：令和5年12月7日 16:15～17:30

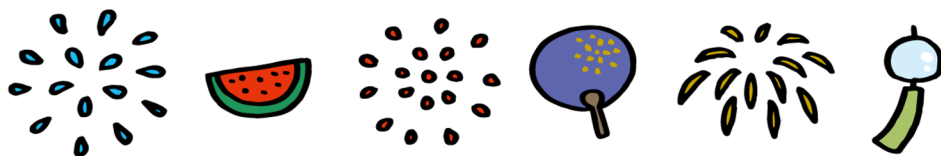
参加者：約40名（学生+教員）

中高生向けの映画上映は初めてで、どのように感じられるか、どう伝えたら良いか、不安もありましたが、上映後は積極的に質問や感想をいただき、時間が足りない程でした。



昨冬、カリタス女子中学高等学校の奉仕活動グループ「アンジェラスの会」の活動の中で映画「不安の正体」上映会を行いました。映画を通して、地域で生活する精神障害のある方の存在を知ってもらい、若い世代の方の障害理解を深めることができれば、との委員会の思いから実現しました。

上映後のアンケートでは『私の住んでいる地域にもグループホームがあることに気づきました。自分の気づかないことを知れてよかったです』『最後の“みんな優しいんです”という言葉がすごく胸に響きました』『今日学んだことを自分たちの今後の活動に活かしたい』など、たくさんの想いを綴ってくれました。学生達の反応は私達委員にとってもまた、貴重な「気づき」の機会となりました。



研修委員報告 令和5年度業務報告会を開催しました！

令和5年2月14日に、前年度に引き続き「事業や活動、支援に対するここが熱い！」をテーマに4事業所が発表を行いました。

<発表事業所&報告内容>

- ① があでん・ららら「があでん・らららの活動報告～メンバーと職員の想い～」
- ② ゆりあす「一緒にやるって、元気になる～当事者と専門職が協働する楽しさの報告～」
- ③ ホーム SKY「自立生活援助アイビーの活動紹介」
- ④ ひまわり「一人暮らしを頑張っている方を通して、ひまわりの活動報告」

4事業所の発表は、それぞれの事業所の特徴が活かされていて、利用者と職員で力を合わせ発表の準備を行ったことが伝わるととても良い発表だったと感じました。また、発表してくれた利用者の皆さんの熱い想いも聞くことが出来て嬉しかったです。発表を見に来てくださった皆様にも、事業所の活動や利用者の率直な声、職員の想いが伝わっていたら幸いです。

また、今回は前年度より多くの方がご参加くださり、「全ての発表に当事者が関わっていて、当事者の言葉を聞けて良かった」、「職員との信頼関係の強さを感じた」など、嬉しい感想もたくさんいただきました。ご参加くださった皆様、誠にありがとうございました。

今年度も業務報告会を開催予定ですので、ぜひお気軽にお越しください！



北部地域生活支援センターゆいあす

令和6年3月5日「第14回ピア活動地域交流会」を開催しました。会場は川崎市高津市民館大会議室！毎年、川崎市でピア活動を行っている人や興味を持っている人達が集まって交流会を行っています。

今回のテーマは、『支えあい～感謝の気持ちをわかちあおう～』。



当日は、77名の方が参加。当事者同士や家族という強いつながりの中での支えあいについて知れたことで、辛かった当時では感じえなかった感謝の気持ちを分かちあうことができました。

今回はその一部をご紹介します！！



前半は、家族での支え合い、当事者が今思う感謝の気持ち、当事者同士の支え合いについて5名の方に講演して頂きました。

（家族での支え合いを聞いて）家族の壮絶な体験を目の当たりにして、その時自分ならどうするかと考えさせられました。



後半は、ワールドカフェ方式でグループワークを行いました。久しぶりに対面のみの実施だったため多くの人たちと交流する機会になりました。

まとめるのは大変だったけど、たくさんの意見が出て、盛り上がりました。

今年度も川崎でピア活動を行っている事業所の人達から実行委員を集って6月から実行委員会を開催し交流会の企画を検討しています！次回の交流会も是非ご参加お待ちしております！

～参加者の感想～

- ・日頃、両親に感謝の気持ちを伝えられていないことに気がきました。今回の事をきっかけに、ありがとうを伝えることができ良かったです。でも、一過性になりがちなので、気を引き締めていきたいと思います。
- ・ピアを続けていくのに大切なことは何ですか？と二人の方から質問を受けました。私は、自分の事を大切に、心と体のコンディションを整えることだと思います。元気に楽に生きましょう。
- ・緊張しまくりながらも、これからのみなさんへお話出来て安堵でした。お楽しみを増やして、幸せになっていきましょう。その為の人生だから・・・。
- ・交流会が始まるまでは支えあいの「感謝」とはなんだろう？と具体的なイメージがありませんでした。しかし、参加したことにより人の肩書に関係なく、お互い支え合っていることに気づけ、感謝の気持ちが湧きました。
- ・壇上で話す機会を頂き、ありがとうございました。聞いて頂いている方の目があたたかく感じました。



地域活動支援センター

さくらスタジオ

初めての

ワークショップ
@ハーブまつり

5月11日(土)に心地よい風が吹く新緑のなか5年ぶりの開催となった『があでん・ららのハーブまつり』でワークショップのブースを開きました。

絵画&創作のプログラムで作ってきた作品の中から“誰でも参加しやすいものがないか”と話し合いや試作を重ね「しおり」と「毛糸のポンポン」を作ることになりました。

「たくさんお客さんが来てくれるかなあ」「何人分準備したらいい?」「上手く説明できるかな…」と初めてのワークショップ運営にドキドキしながら当日を迎えましたが、予想を上回るお客さんの数に息つく暇もなく準備した材料では足りずに急いで補充するという盛況ぶりでした。

想定外の出来事や準備不足な部分もありましたが、初めてにしては上手くいったと満足感でいっぱいです。これからも地域のイベントなどに参加し、たくさんの方と交流しながら、さくらスタジオの活動を紹介していきたいと思っています。



ワークショップの様子

参加したメンバーの感想

- ・想定外の人数が来て大変でした。
- ・座っている暇がない。
- ・楽しかった。またやりたい!
- ・他のお店の美味しい食べ物もいただきました。
- ・思いのほか、たくさんの方が集まり盛り上げてよかった。

さくらスタジオの
普段の様子は、
事業所ホームページの
「さくら reports!」や
「Instagram」にて
随時ご覧いただけます!



ホームページ



Instagram
sakurastudio-2016

ホームから地域へ ～自立支援の課題～ 「共同生活援助事業所 ホームSKY」

ホームSKYでは2022年1月～「自立生活援助事業所アイビー」を立ち上げて、ホームから地域へ自立される方の新しい生活応援に取り組んできました。その中で、一番の苦労はアパートを借りることで、特に生活保護や障がいについて伝えたと、申し込みをしても断られてしまう方が多いのが現実。これは以前家族の保証人サインで借りることのできた住居が、現在は保証会社の審査が必要となっていることで厳しさが増したことも理由のひとつです。

ホームからの自立を目指す方は、サービスを受けながら自立生活のできる方ですが、現在半年間住居を探しても借りることができない方もおり、地域のサービスやアイビー支援の説明をしても、なかなか理解は得られず、歯がゆい思いを繰り返しています。

2024年度、新しい居住支援協力不動産店の名簿を確認したところ、今までより協力不動産店が減っており、特に精神障がい者の相談を受け付けてもらえる不動産店はとても少なくなっています。国の制度では、自立目標のホームの立ち上げや自立加算を新しく創設してきていますが、住居確保の厳しさの解決にむけて検討を進めていかなければ、そのような取り組みの実現は困難です。課題の多い中ですが、今年度も川崎市精神障害者地域移行定着支援推進会議に出席し、関係者と共に検討する中で、不動産店のご意見も伺いつつ、地域の理解が広がるように努力していききたいと思います。

☆はっぴのお仕事 東京ビッグサイトに展示☆

就労継続支援B型事業所 はっぴわーく

コロナや世界のいろんな出来事の余波をうけて日本に仕事の資材が届かない！そんな時期に新しく始めたのが、私たちが「なかよしセット」と呼ぶ、ホテルでお子様を使うアメニティセットを作る仕事でした。はっぴわーくで働くみんなの、丁寧な仕事が評価されてホテル業界の見本市「国際ホテルレストランショー」にて製品や作業風景が展示されることになりました！もちろんイベントには参加させていただきメンバー職員 総勢10名で行ってきました！

～当日の様子～

会場はどこまでも広く。周りを見渡せば煌びやかな製品やおいしそうな匂いが漂う。広い会場を歩き回るのは少し大変だったけど、私たちの作業風景を載せた写真や普段作っている製品を見つけたとき嬉しく思いました。こういう形で仕事が評価され励みになったと思います。

大きなイベントで
評価されて嬉しい！
自信になった！

Byメンバー

この業界が多様な
働き方の一助に
なれて誇りに思う。

By業界の方

↓アメニティセットです

↑メンバーの作業風景の写真です😊

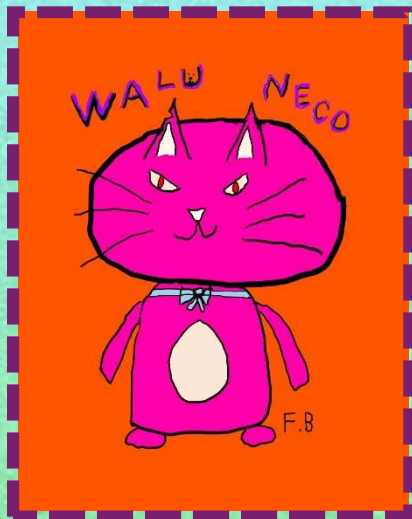
・ ・ ・ ・ ・ みんなの広場 ・ ・ ・ ・ ・

～ SKY メンバーの投稿コーナー ～

SKY メンバーの日常を切り取ったホットな投稿をお送りする「みんなの広場」
おもいのこもった素敵な作品が集まりました。お楽しみください！



「えっちゃんのゆりあすライフ」
ゆりあす えっちゃん



「ワルネコ」さくらスタジオ F. B



「おしゃれになりたい」
ホームSKY 文枝



「プルプルパワー」
きたのば プルプルちゃん
*プルプルちゃんが楽しくのってる



「もののけむら」ホームSKY 江口 秀介



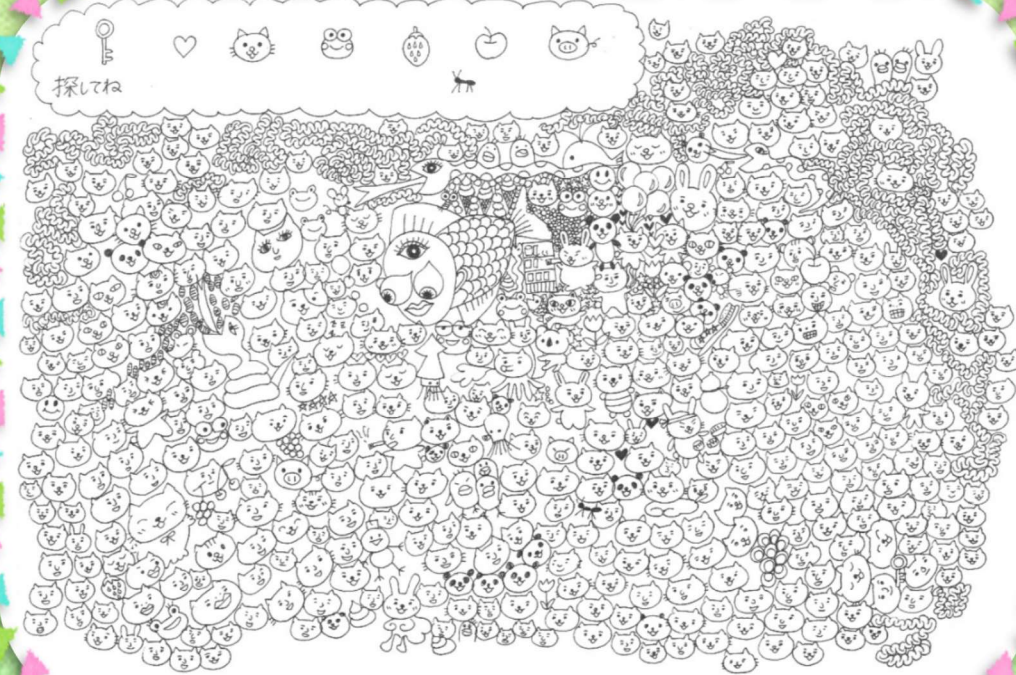
「いい思いがいいことにつながりますように。」
ゆりあす ayapone



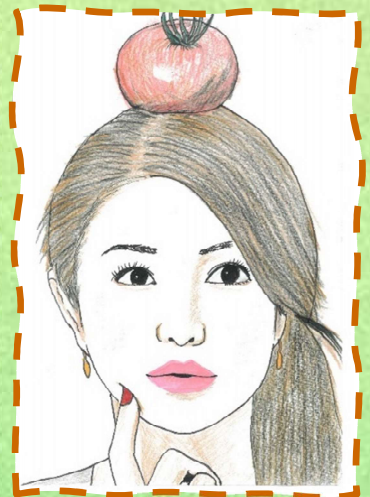
Me & Mr.Lennon

ゆりあす 堀部敦

ジョン・レノンが亡くなったのを知ったのは、僕が小学生の時、名古屋の道を歩いていた時の事だったと思う。その時、僕の父をはじめとする周り何人も変わらなかった事が、少しショックだった。彼のような人が亡くなった時は、立ち止まらなければならないと考えていたからである。さいたまスーパーアリーナ内にあった彼のミュージアムやニューヨークのダコタハウスにも行きました。写真はリバプール郊外にあるジョン・レノンの生家。2006年7月28日撮影。人が誰も通っていない淋しい所でした。



「トマトの少女」
ゆりあす 雅道



「探してね」きたのば かおりさん

*細かい絵を描くのが好きです。猫がいっぱいいるのがとくちょうです。



最近の(めずらしくうけた)ジョーク

アイビー ねじねじ星人

上司のSさん：私、育児休暇を取って、1年くらいごぶさたします。
私：それは、おめでとうございます。
Sさん：私の替わりに、Oさんという方が、みな様の担当となります。
私：了解いたしました。
後日。
私：今日がSさんの最後の出勤日だと聞いたので、感謝の気持ちをこめて「Thank You Cookies」を持って来ました。
Sさん：それは、ありがとうございます。でも、私、英語は苦手なので、日本語で説明していただけますか？
私：日本語でもあるのです。「サンキュー（産休）クッキー」
Sさん：「・・・」
Oさん：「おもしろいね。」

「緊急ケイタイ」紙ひこうき やさぐれ まり

宇宙はどこかに
宇宙は無敵だ。
ホームSKY 夢常甚足
涯てはない。限らない宇宙は、
どうなっている。いるであろう？
宇宙人は宇宙にいるのであろうか？
無限だから、生命はいてもおかしくない。
私は思う。宇宙人がいれば、どんなに、
楽しいだろう。地球人みたい、
おろかな人類ではなく、やさしい宇宙人が
いれば、どんなに楽しいだろう。
戦争ばかりやっている地球人
泣くのは女と子供ばかり。
男のエゴ馬鹿野郎いにかげんにしろ。
私の父は戦争で、失明、指を五本失しない
悲惨な人生を、お送りガンで死んで、
行った。
宇宙のどこかに、平和なユウトピアは
ないであろうか。



「仲よし2人組」
きたのば かな。

*おんなのこかくのが好きで、
おもしろくまかきました。

私は青森が好きです。多分、私の体には青森の血は流れていないのですが、青森に降り立つと心がじゃわめぐのです(津軽弁で、からだじゅうがざわざわして、いてもたってもいられなくなるような感じ)。

人生で初めて青森を感じたのは、中学3年の夏、図書館で太宰治に出会った時でした。「斜陽」をその場で読了し、衝撃を受けてから、古本屋で太宰を片っ端から購入し、食べるように読みました。

当時はスポーツばかりしていてチャホヤされる一方、人に弱みを見せることができない孤独を感じていたためか、墮落した(…失礼)格好つけない太宰に憧れを抱いたのだと思います。そんな太宰が故郷へ帰る紀行文「津軽」が好きで、いつか行ってみたいと思っていました。あれからうん十年…大人になった私は、電車や愛車ダホンで青森中を旅してきました。青春期の直感は的中で、“やだらたげあずましい”場所でした。そんな青森にいつか住んでみたい、それが今の私の夢です。



「田園に死す」の舞台となった恐山。亡くなった人に会える場所と言われている

次回のつぶやきは??

FROM: 紙ひこうき 田中さん

はっぴわーく 今井さん



第2回イカス！スカイ展

～昨年好評につき第2回開催決定～

2024年11/29(金)ー12/4(水)

開館時間:10:30～16:30 入場無料

多摩市民ギャラリー[多摩区役所2F]

SKY かわさきに集う仲間たちの作品展です。皆様のご来場を心よりお待ちしております

新 職 員 紹 介 ～きたのば、紙ひこうき 大谷華子さん～

4月に入職いたしました。今年の2月に実習生としてゆりあすで学ばせていただき、現在は職員として、きたのばと紙ひこうきを兼務させていただいております。

至らない点があるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

＊編集後記＊ 今年は値上げラッシュ。さまざまな商品やサービスで値上げが行われる予定です。電気や宅配料金のサービスからハムやパンなどの食料品、ウィスキーなど酒類まで。この値上げいつ落ち着くことやら (す)